

### 企画 新規建設予定の広域火葬場 計画の経過について

**Q** 箱根町も予算を計上して、広域火葬場計画に参加をしています。建設計画予定地となつて、建設計画が頓挫している土地買収が頓挫して、計画の見直し、もしくは白紙撤回のような状況があると言いました。どうしてそのような状況にいたつてしまったのか、その原因と現在までの経過とそして、今後の対策について伺います。

**A** 小田原市の斎場は、供用開始から約40年が経過しているため老朽化が著しく、既存施設の増改築では十分な対応が困難な状況にあることや、高齢化社会により火葬件数の増加が想定されることから、平成18年度から、周辺市町の2市5町（小田原市、南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町）による広域斎場として整備するため、県西地域広域斎場建設協議会を組織し、現在進めている。

斎場整備に当たっては、これまで地元地域の御理解

取得が困難であると判断せざるを得ない状況となった。今般、苦渋の決断ではあります。建設候補地を見直すことに決定した。

と御協力を得ながら建設候補地「現小田原市斎場に隣接する南足柄市三竹地区及び現小田原市斎場敷地」において事業実施に向けた地権者との協議を行ってきた。しかしながら、度重なる地権者との協議にもかかわらず、協議が難航し、用地

### 学校教育 箱根中学校スクールサポートについて

**Q** ①小田原警察署スクールサポートについて、町は今後の様に連携を考えているのか。

**A** 昨年度、一部の生徒による不良行為や暴力事件等、生徒指導上の問題が発生したことは、ご承知のことと思う。事件発生に伴い、小田原警察署に連絡や相談をすると共に、保護者や地域の皆様方のご協力もいただき、本年度は落着いている状況にある。

その中で、本年度2学期から 小田原警察署生活安全課少年係を事務局とす

現在検討中である。

**Q** ②緊急時における町・学校・警察間の連絡網は確立されているか。

**A** 生徒指導の問題が発生した場合、学校から教育委員会へ第一報が入る。緊急用件の内容、生徒への指導、保護者等への連絡、場合によっては警察への連絡、関係者への連絡について、学校側と協議を行う。

学校長はそれに基づき、生徒指導主事に協議内容を連絡し、速やかな対応を指示する。

たいと考えている。



### 財務企画 箱根町財政健全化 プランについて

**Q** ①職員定数削減と人件費に関して

**A** 職員定数削減の具体的な方策と人件費率平成26年度まで33%以下の根拠と今後の実行過程について

**A** 職員数については、平成16年度以降、35人の削減をしてきている。

平成21年度に「箱根町財政健全化プラン」を策定し、「職員数の削減を5年間で25人以上」という目標を掲げ、更なる取り組みを進めているが、地方分権により市町村の事務量は増加傾向となる状況において、職員数を単純に削減することは困難であるので民間委託や臨時職員の雇用へ切り替えていくことを基本的な考え方としている。

減を実施しようとするものである。

**Q** ②物件費・委託料に関して

**A** 平成21年度の一般会計の委託料の決算額は、総額11億3千2百万円、合計439件で、歳出に対する割合は13.2%。委託料の金額の多い上位10件を合計すると、4億6千3百万円で、委託料全体の40%となっている。人件費の削減を行うための手法の一つとして業務委託を進めることは有効な手段であり、これにより全体の経費を削減することができる。

平成20年度の箱根町の人件費比率35.5%は、神奈川県の中で最も高い数値であり、県内での次点である逗子市の33.2%を受け33%以下に設定した。平成26年度には達成できるよう、その手段として5年間で25人以上の削減を図っていく。

しかし、これは物件費に限れば増の要素となるため、この目標設定とは矛盾することになる。そこで、委託料については、委託内容や執行方法などを見直すことにより、さらなる経費の削減